



SANSHINGROUP
Monthly Report on the ESG
Sep.2024

INDEX

1. TOP MESSAGE
2. グループ社員による今月のつぶやき
3. ESG Report（品質）
4. ESG Report（環境）
5. ESG Report（地域貢献とワーク・ライフ・バランス）
6. サンシングループの経営理念とCSR
7. 経営戦略体系と管理会計のかかわり
8. サンシングループの社会的責任
9. サンシングループの企業行動基準
10. サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ
11. 未来形から問題を解決するソウレンホウ

TOP MESSAGE

1月1日に発生した地震で大きな被害を受けた能登半島が、今度は大雨による甚大な被害を受けている。近年よく耳にする観測史上最大という言葉、400mm/24hの大雨は復興の進んでいない地域で更に被害を拡大させている。115か所の孤立集落、20以上の河川の氾濫、道路の寸断と繰り返される災害に住民たちの心も限界に達しており厳しい心情が伝わってくる。昨今の異常気象により、日本のどこでも、いつ同じような災害にみまわれるか分からない状況の中、常に災害に対するリスク管理を意識する必要がある。会社での災害マニュアル再確認、家庭での災害に対する備えの確認など、確認および必要に応じた見直しを行うとともに個人としてのリスク管理意識を常に高めて取り組んでいきたい。

サンシン電気株式会社
取締役 河原 崇

グループ社員による今月のつぶやき

SANSHINEast

先日、サンシン本社にて避難訓練が実施されました。訓練とはいえ、座学だけでは分からないことも多く、有意義な時間となりました。地震、大雨等の自然災害対応だけでなく、二次災害への対処、また備蓄品の有無等、いざという時にパニックになることの無いよう、実践を以ってその重要性を学ぶことが大切かと思えます。(Y.Y.)

SANSHIN Hong Kong

中国に行くと本当にEVが多い。今まで白タクシーを手配し、価格も交渉し、時には道も迷い本当に珍道中であった。しかし、今は、中国版UBERでDIDIがあるが、車も殆どがBYDで乗り心地も最高だ！また明朗会計も非常に助かる。(A.A.)

CSI

普段は特に季節を感じにくいセブですが、クリスマスが近づいてくると変化を感じます。フィリピンのクリスマスは、世界で最も長いと言われて、9月から始まります。フィリピンの方々は「-ber months」と呼ばれる9月から12月の4ヶ月間を、クリスマスシーズンとして祝い、電飾やいろいろなデコレーションが始まります。(K.S.)

SANSHINWest

近年記録的豪雨による川の氾濫や土砂災害などが多発しています。この数年でハザードマップが変更されている可能性がありますので再確認と、避難場所の確認を行い、実際に避難情報が発表された場合はまずは身の安全を第一に考えて行動しましょう。(F.H.)

SHINKOWA

たまたまですが、借家の水道が使えない状況が3日間あり、水道の大切さを感じました。9月は防災訓練をしますがリアルな訓練をしたようでした、毎日している手洗い・うがい、歯磨き・トイレ・お風呂、食器洗い・洗濯が出来ない状態って考えているより大変です。残暑厳しい中お風呂(シャワー)に入れないのが大変でした。(ちゃんとタオルで体は拭きましたけど)(M.N.)

SC2

【遂に、脳まで】人間の脳からマイクロプラスチック検出。既に肺や頸動脈には入り込んでいましたが、脳に到達・蓄積されていることが判明。もちろんこれはレジ袋の成れの果てではなく、洗剤や柔軟剤に含まれる香料の入れ物です。マイプラと一緒に香り成分が脳に到達し、私たちの神経系に悪影響を与えているのです。(M.I.)

ESG Report (品質)

サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

品質への取り組み

要因分析

<品質管理の基本である5M>
Material (材料)、Machine (製造機械)、Method (製造方法)、
Man (担当者)、Measurement (計測)

段取り

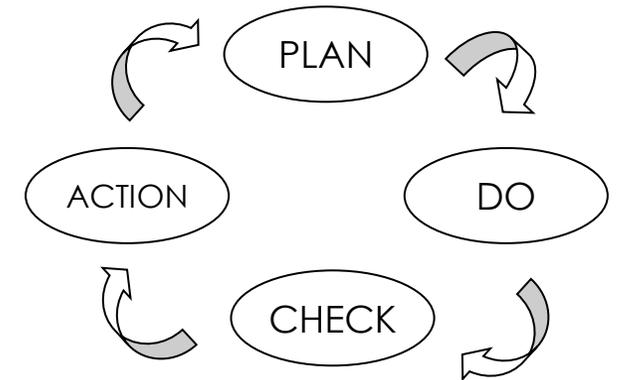
<仕事の段取り5W3H>
5W : When (いつ)、Where (どこで)、Who (だれが)、What (なにを)、Why (なぜ)
3H : How (どのように)、How much (いくら)、How many (どのくらい)

行動

<製造の基本である3現主義>
現場、現実、現物

管理

<品質管理の基本はロット管理と変更管理>



- EMS先との継続的な品質会議の実施。(1回/隔月)
- 定期監査の実施。(1回/1年程度)

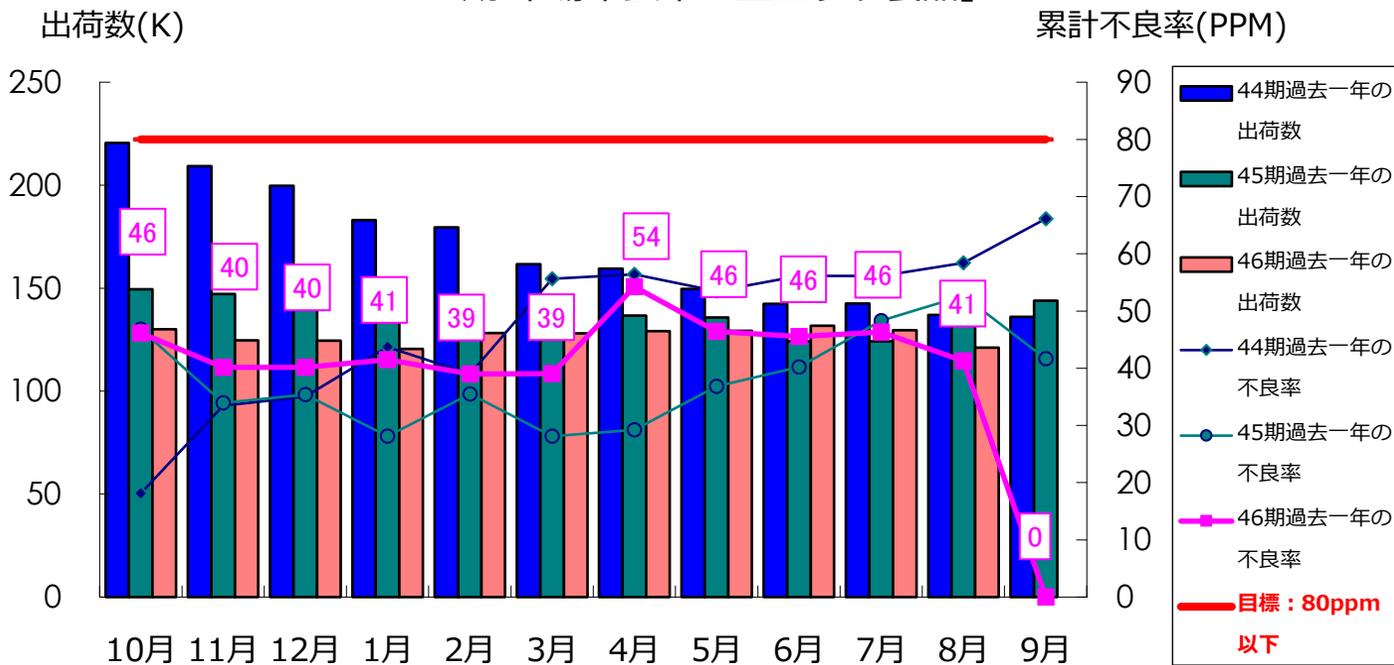
* 最も大事なのが、継続させるための「**個人の意志**」である。

品質状況

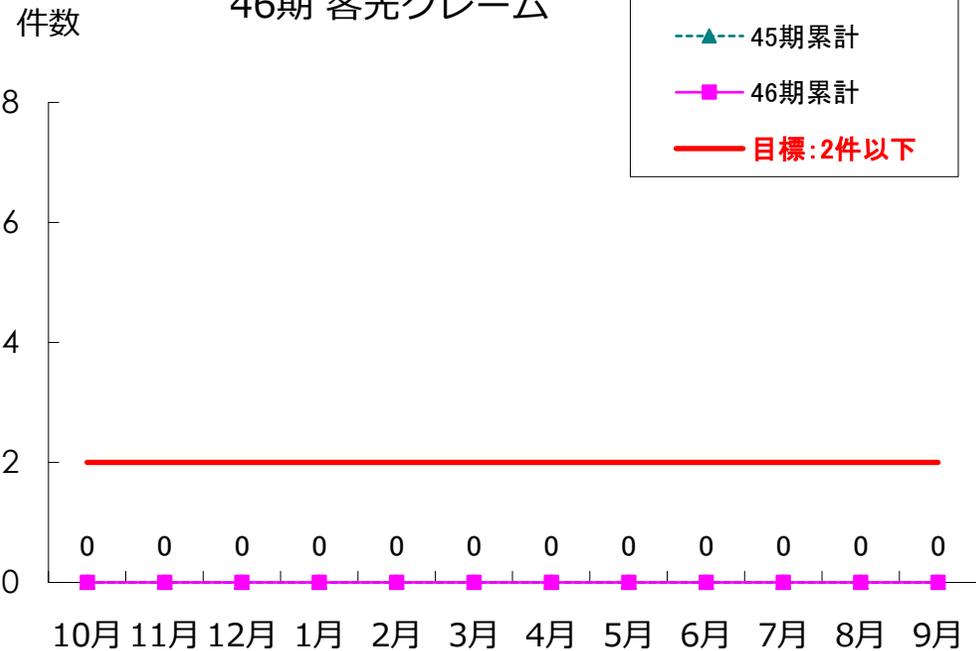
納入品不良率 (目標 : 80ppm)
 46期の累計不良率(解析依頼含む) : 41ppm

客先クレーム (目標 : 2件以下) : 0件

46期 市場不良率「ユニット製品」



46期 客先クレーム



ESG Report (環境)

TOPICS

□ 意外と知らない？東京の環境問題の現在地

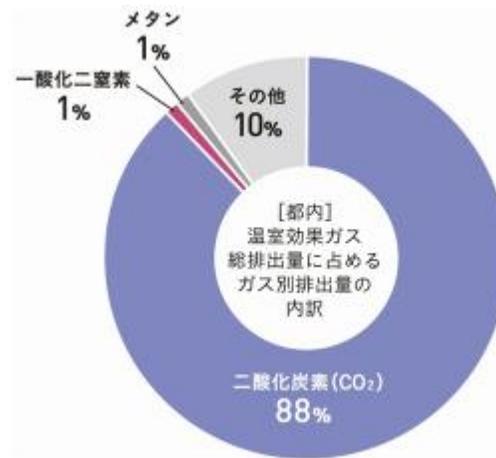
■ 早まる桜の開花。そして猛暑、豪雨…気候変動を生む原因は「二酸化炭素」

東京にいと、すでになんとか感じている気候の変化。データを見てみると、桜の開花は早くなり、猛暑日も、年1日あれば多い方だった100年前と比べ、10日を超えることも普通です。このように「地球温暖化による気候変動」はすでに私たちの日常に影響を及ぼしています。この一番の原因は「二酸化炭素」、東京の温室効果ガス排出量の9割弱を占めます。私たちは日々、電気をはじめとする大量のエネルギーを使っていますが、そのエネルギーのために、化石燃料を燃やして二酸化炭素を排出しています。この「二酸化炭素」をいかに減らすかが課題です。

桜の4月1日の開花ラインの変化



- › 1991年～2020年の平均値に基づく4月1日開花ライン
- › 1956年～1985年の平均値に基づく4月1日開花ライン



出典：都における最終エネルギー消費および温室ガス排出総合調査2020年度

TOPICS

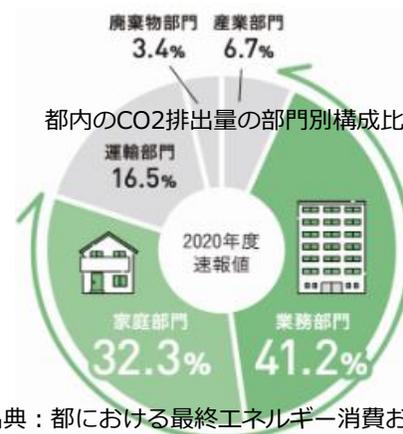
■ 「2050年ゼロエミッション」に向けて、東京都は「2030年カーボンハーフ」を表明

気温上昇を1.5℃以内に抑えるために、世界は2050年CO2排出実質ゼロ（ゼロエミッション）、2030年時点で約半減の実現に向け、取り組みの強化を進めています。資源やエネルギーを大量に消費している東京も、都内の温室効果ガス排出量を2030年までに50%削減（2000年比）する「2030年カーボンハーフ」を表明し、これまでの取り組みをさらに拡大、加速させています。

■ 「家庭」からは排出増加！？建物での“HTT”がカギ！

実は、東京の二酸化炭素排出量の約7割は、住宅やビル・工場などの建物でエネルギーを使うことによって排出されています。多くの建物が集まる東京では、建物に対する対策が重要課題なのです。2000年頃から東京都は、企業の協力も得て、大規模な建物を中心に排出削減の取り組みを実施し、一定の成果を得てきました。一方、「家庭部門」と呼ばれる家庭からの二酸化炭素の排出量は世帯数の増加等もあり、なかなか下がっていないのが現状です。家屋や中小規模のオフィスからの排出を削減するために、都民一人ひとりの意識・行動の連携の重要性が増してきているのです。この背景をふまえ、知っておいていただきたいのが、「電力の“HTT”（HへらすTつくるTためる）」アクションです。建物に関連して排出される二酸化炭素の多くは、電力使用によるものです。家での電力消費を「へらす」省エネ。そして、化石燃料を燃やさずに自然のエネルギーで電気を「つくり」「ためて」使う取り組みを進めていくことが、建物に関連して排出される二酸化炭素の削減に直結します。

HTT 電力を
へらす
つくる
ためる



出典：都における最終エネルギー消費および温室ガス排出総合調査2020年度

TOPICS

■ 実は「我慢」ではない！？「いいことが多い、温暖化対策

省エネと言うと、「我慢するのは嫌だな」と思う方もいるかもしれませんが、温暖化対策は、実は「我慢」するものではなく、皆さんにとって「いいこと」も多いのです。太陽光発電設備の設置は光熱費を削減し、4キロワットのパネルを設置した場合の、30年間の支出と収入を比較すると、最大159万円のメリットを得られる計算となっています。設置費用は、現在の補助金の活用により約6年で回収できます。停電時も電気が使えるため、災害などで停電した場合も安心。さらに、住まいの断熱性を高めることは部屋間の温度差を小さくでき、ヒートショックを防ぐなど、私たちの健康にも好影響を与えてくれるのです。無理せず、オトクに、生活の質を上げるために、HTTに取り組んでいくことをおすすめします。

■ こんなに違う、日本と世界での「気候変動対策」へのイメージ

Q.あなたにとって、気候変動対策はどのようなものですか？

- a.多くの場合、生活の質を驚かすものである
世界平均 26.75%
日本 60%
- b.多くの場合、生活の質を高めるものである
世界平均 66.24%
日本 17%

出典：世界市民会議（World Wide Views on Climate and Energy）2015年6月実施

世界の人々は、生活の質を高めるものと感じているが、日本人は「生活を驚かすもの」と考えている

賢くオトクに。HTTの支援一覧

	H へらす			T つくる	T ためる			
アクション	日々の行動として			家電などの買い替え時には	リフォーム時には	新築住宅・既存住宅向け		
	省エネ冷房時の室温は28℃を目安に。出来る取組を考慮してみる。	サステナブル商品の選択（電力メニューを再生可能エネルギーへ切り替える）	温暖化のニュースに少し興味を持つ。家族・友人と話す	省エネ性能の高いエアコン、冷蔵庫、給湯器への買い替え	LED照明器具への買い替え	高断熱窓・ドアへの改修	太陽光発電設備を設置	蓄電池を設置
補助金等	家庭の節電マネジメント事業（デマンドレスポンス）		—	東京ゼロエミポイント	断熱・太陽光住宅普及拡大事業	太陽光発電設備、蓄電池、電気自動車の補助金があります。詳細は都のホームページをご覧ください。		

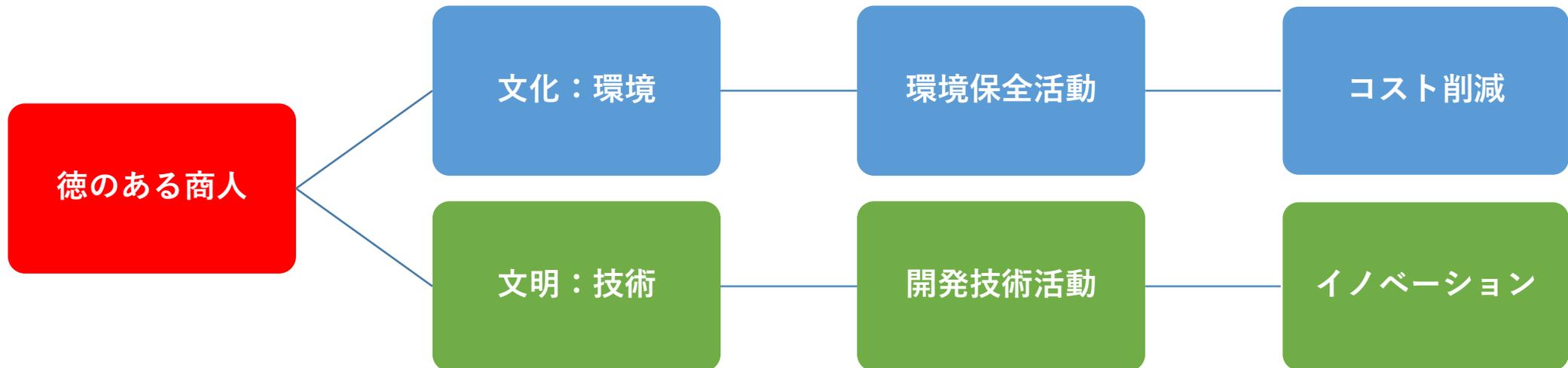
サンシングループ環境経営への歩み

1. 環境経営の基本マインド

* サンシングループ経営理念

私たちは お客様を愛し お客様から愛される

徳のある商人を目指す：世界の文化・文明発展のために



2. 環境への取り組み

2002年から現在までの経緯



2. 環境への取り組み

～2002年

環境対応はコスト増の要因であり取り組む必要はないという認識。

2002年～

専門商社から海外商社，メーカーへと展開するなかで**環境MSを整備**。

2004年～

グループ企業体の発足に伴い**経営理念**を創設。 **CSRを能動的に展開**。

2014年～

健康経営を標ぼう，以後，東京都認定。

2020年～

CSV経営を宣言， **ESGとSDGs**を重視。

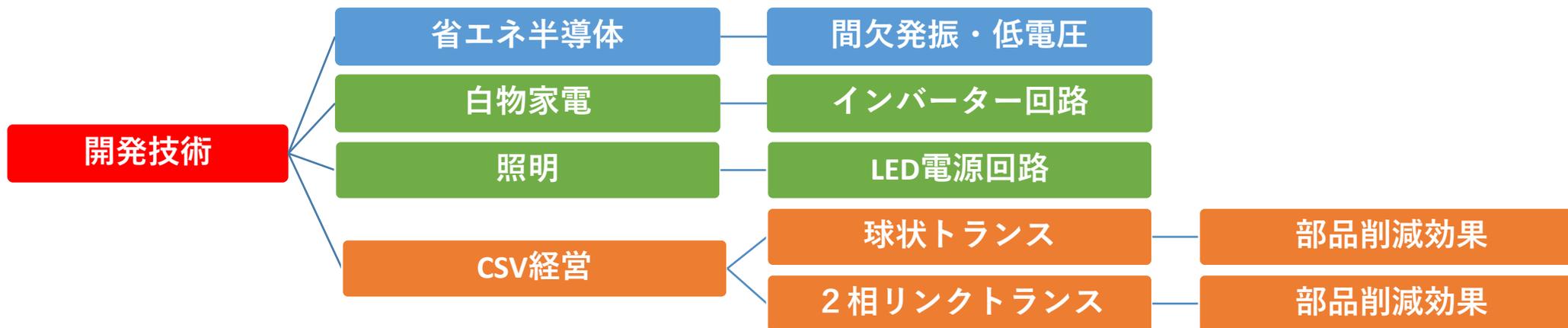
3. コスト削減実績

- **紙/ゴミ/電気**, 三種の神器, 徹底削減の継続
 - **テレワーク**による電気/交通費削減
 - 環境MS監査費用は増加（リアルコスト）
 - 環境活動時間は増加（バーチャルコスト）
 - コスト削減費用と増加費用の差額をマネジメント
- ⇒ **グループで年間約4,000万円※のコスト削減を実現！**

※2004年度対比

4. イノベーション事例

- ・ 環境保全の開発技術ビジネス



4. イノベーション事例

省エネ半導体

専門商社として拡販

白物家電

白物家電向け**インバーター回路**の設計

照明

LED照明用の回路設計および電源製造

CSV経営

環境保全を鑑みた電子部品を**自主開発**

環境とイノベーションを結び付けた技術開発

CSV経営 モノ×コト = 価値創造

5. Scopeの対応

- Scope 1：該当なし
- Scope 2：電気排出量のみ（J/C/P合計）
『ESGレポート』掲載
- Scope 3：該当事項のみ集計
 - 4：輸送配送
 - 5：廃棄物
 - 6：出張交通費（旅費除く）
 - 7：従業員交通費

6. まとめ

- ほとんどのSME他社が取り組んでいない項目だからこそ「進取の精神」で取り組みます！
- 事業活動の中で可能な小さいことからコツコツ継続します！
- 環境保全活動はコスト削減とイノベーションのきっかけになります！
- サンシングループはこれからもサステイナブル企業としてサステイナブルな社会のために環境保全活動に取り組みます！



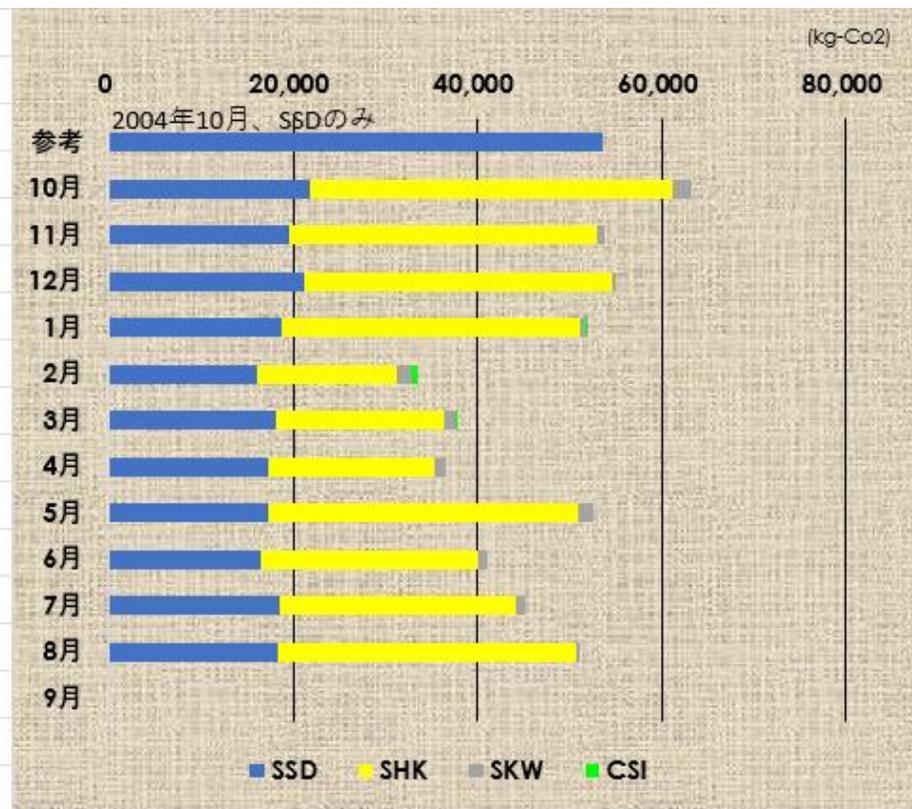
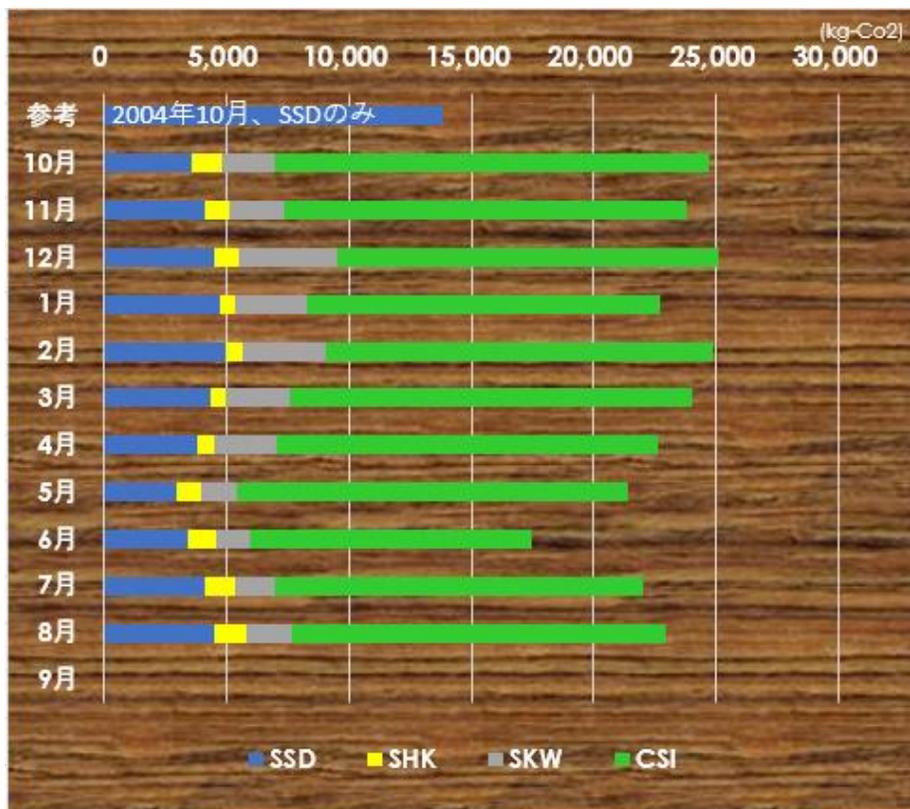
活動報告

- ① サプライチェーン排出量
- ② 廃棄物排出量
- ③ 電力使用量

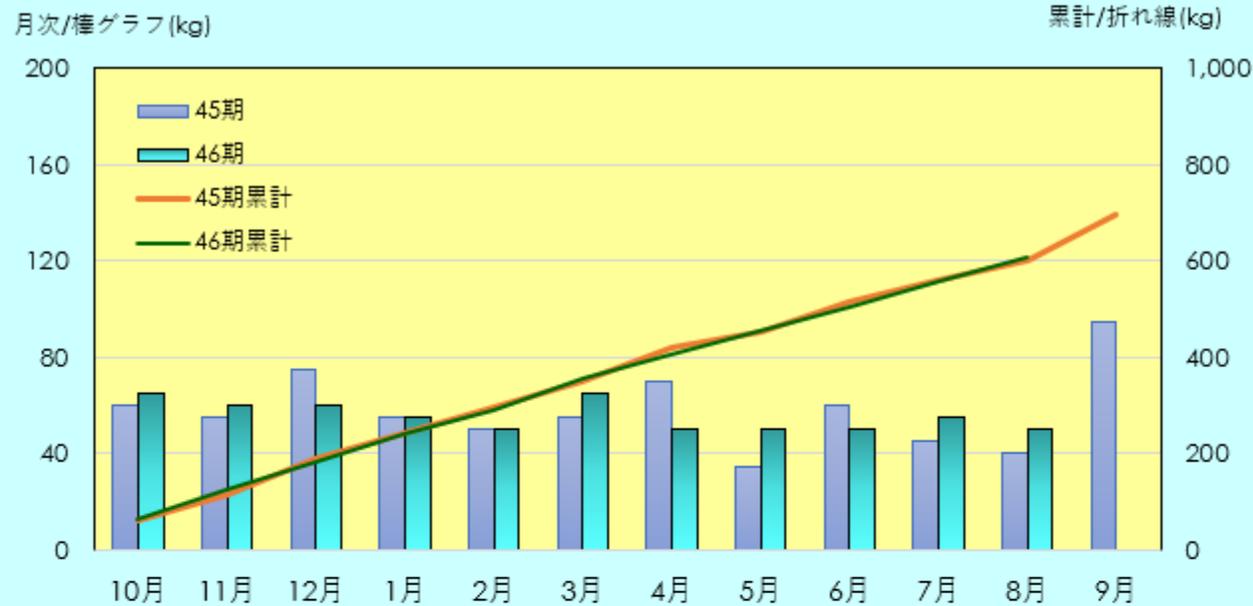
SSGサプライチェーン排出量

サンシングループではサプライチェーン排出量前年比▲5%に取り組んでいます

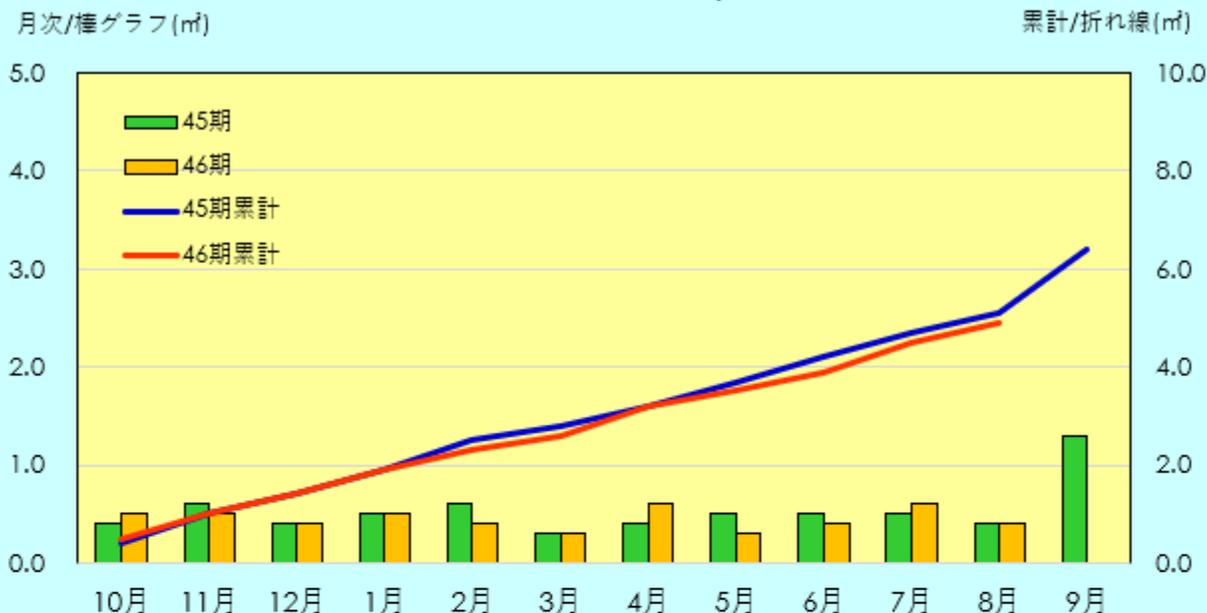
- Scope 1：該当なし
- Scope 2（他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出）
- Scope 3（事業者の活動に関連する他社の排出）



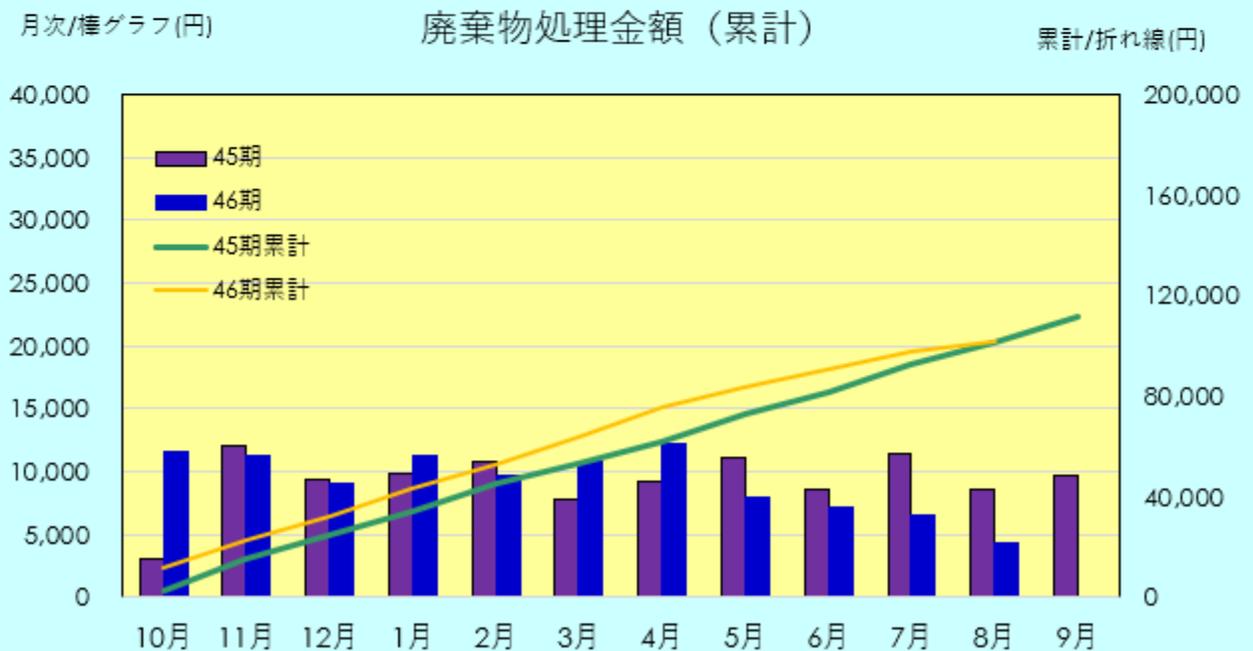
一般廃棄物 (SSD/本社)



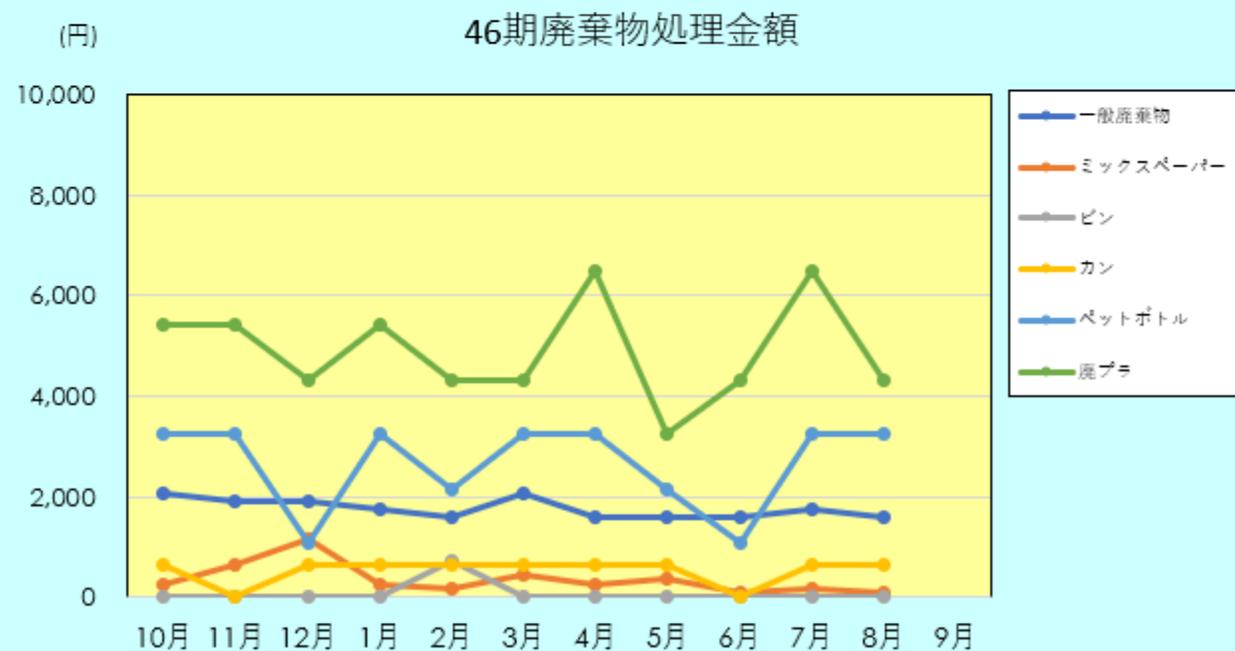
一般産業廃棄物 (SSD/本社)



廃棄物処理金額 (累計)



46期廃棄物処理金額



電力使用量 (SSD/本社)

月次/棒グラフ (kwh)

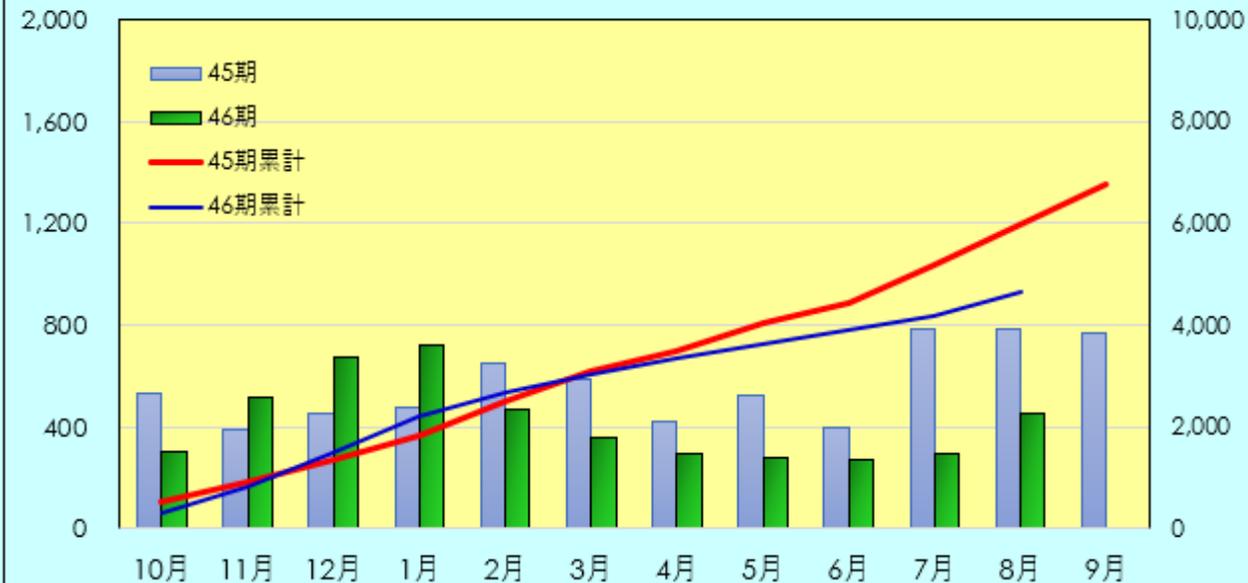
累計/棒折れ線 (kwh)



電力使用量 (SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ (kwh)

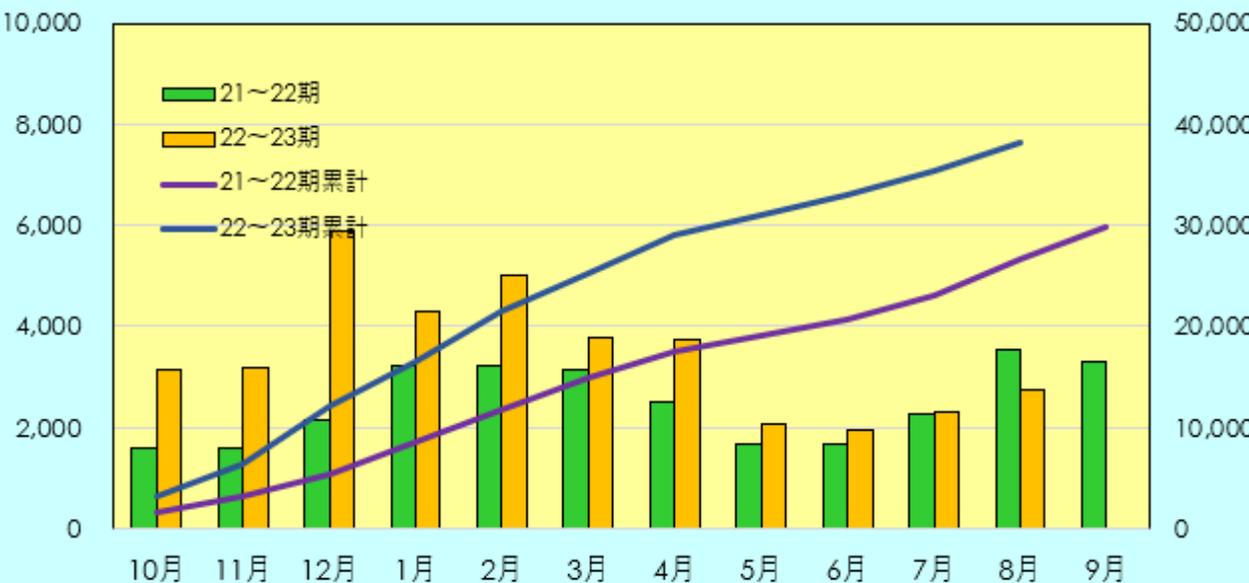
累計/棒折れ線 (kwh)



電力使用量 (SKW/朝日工場)

月次/棒グラフ (kwh)

累計/棒折れ線 (kwh)



電力使用量 (CSI)

月次/棒グラフ (kwh)

累計/棒折れ線 (kwh)



ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

今月のTOPICS

● 非常時を想定した避難訓練・通信訓練を実施しました！

9月6日にサンシン電気本社にて、地震を想定した避難訓練を実施しました。また、停電・ネットワーク不通の状況を想定し、非常用バッテリーの使用方法説明や、サンシングループ各拠点との衛星通信訓練を行いました。

参加者からは「これからも定期的を実施して、災害に対する意識を保てたら良いと思います。」「避難動線を定期的を確認したいと思います。」という声がありました。

非常時に従業員とご家族の安全を確保し、事業を継続できるよう、引き続きBCP管理に取り組んでまいります。



活動報告

- ①地域貢献活動
- ②ワーク・ライフ・バランスへの取り組み
- ③人財育成への取り組み

地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（8月参加人数：延べ4名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小中学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入（ミタスライフ）
- 飼い主のプロを育てる「ドッグライフアカデミー」を創設（ミタスライフ）

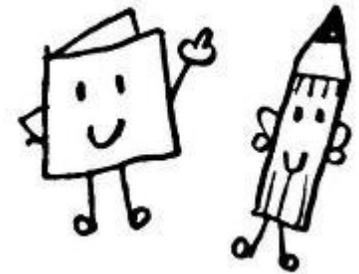


ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

- 育児休業中も休業前のほぼ半額の給与支給。行政と併せてほぼ全額受給可能（累計実績5名）
- 育児短時間勤務中も、通常と同額の給与支給（累計実績6名）
- こども手当の支給（中学生未満）
- ご家族の急な病気やご家庭の事情、社会情勢に合わせて、在宅勤務又はテレワークが可能
- リフレッシュ勤務制度（勤務間インターバル制度）の導入
- 時間単位の有給休暇取得制度の導入
- 年2回実施の人事考課にて、ご両親または20歳以下の子供を扶養している社員への加点実施
- 勤続表彰者への特別休暇の付与及び記念品を贈呈
- 毎年1回、全社員対象に健康診断を会社負担で実施
- 東京都の「感染症対応力向上PJT」に参加し、コースⅠ（感染症理解のための従業者研修）達成（2016年1月）、コースⅡ（感染症BCPの策定）達成（2017年12月）⇒2020年8月「感染症BCP」を新型コロナウイルス感染予防対策も含め更新！
- 全国健康保険協会東京支部より「健康優良企業・銀の認定証」取得（2024年5月更新）⇒8年連続！
- 経済産業省・日本健康会議より「健康経営優良法人2021（中小規模法人部門）」の認定取得（2017年～2021年）
- 東京都より「スポーツ推進企業」、スポーツ庁より「スポーツエールカンパニー」の認定4年連続取得（2017年～2020年）
- メンタルヘルスケアの一環として従業員用オンライン相談フォームを設置（海外拠点からも投稿可能、匿名でも投稿可能、秘密厳守）

人財育成への取り組み

- ▶ 社内にサンシン大学（SSU）を設置。経営・法務・税務・情報セキュリティ・新製品紹介・ビジネス英会話・健康促進法・eラーニング等の講義を開講（World-wideでSkype配信実施。就業時間内に開講。会社が費用負担）
- ▶ サンシングループ石井代表と選抜メンバーによる「CSV研究会」を開催中
- ▶ サンシン大学への出席実績は、年2回の人事考課で加点対象
- ▶ 自己啓発支援制度により、MBA/MOT取得や資格取得を積極的に支援
- ▶ 簿記、ビジネス実務法務検定、TOEIC・英検等の取得により職能給UP
- ▶ 他社での技術研修、経理実務研修等を実施
- ▶ 年に1度、好業績を残した社員に対して社員表彰を実施
- ▶ “情報共有システム（Intelligence Shared Systems）”の活用により、日々PDCAP’を全社で共有し、TOP MANAGEMENTとの直接のコミュニケーションが可能
- ▶ 一般社団法人ICTマネジメント研究会による「学生懸賞論文」の実施（毎年開催）



サンシングループの経営理念とCSR

We love our customers,
We're loved by our customers,
Always be a Virtuous Merchant
to contribute to Cultures and
Civilizations around the World.

サンシングループのCSRは、経営理念を全役員・全従業員が共有し、100%のコンプライアンスを大前提として、企業活動の中で経営理念を実践していくことです。

コンプライアンスの基礎となる品質マネジメント・マニュアル及び環境マネジメント・マニュアルを策定・導入し、サステナブルな企業として永続的に電機業界及び社会の発展に貢献して参ります。また、ステイクホルダーとの信頼関係の構築を通して、社会の公器として企業の社会的責任（CSR）を果たして参ります。

経営戦略体系と管理会計のかかわり



サンシングループの社会的責任

サンシングループは、企業はステイクホルダーをはじめとする社会全体と共存して繁栄し、社会的責務を伴う存在であると考え、以下の取組みを実施しています。

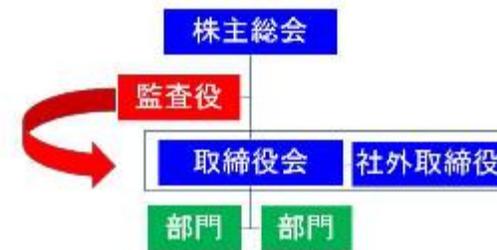
■ コーポレートガバナンス

経営者がコンプライアンスに準じた行動をしているか、コーポレートガバナンスにより、内部の業務監査を行っています。

■ CSR及び環境経営（ESG）

サンシングループではCSRに環境経営、品質保証、危機管理などの要素を含め、ホームページで活動内容を発信しています。特に環境経営はISOなどの環境マネジメントシステム（EMS）と連携した活動を実施しています。

コーポレートガバナンスと機関の役割



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、13ページ。

CSRの基本的要素



CSRの新たな要素



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、14-16ページ。

サンシングループの企業行動基準

サンシングループの倫理法令遵守企業行動基準は、「経営理念」を実践するために、企業倫理とコンプライアンスの観点から、基本的な姿勢を以下の通り定めています。

1. 私たちは、常に社会人としての自覚を持ち、高い倫理観に基づき、社会的良識に従って行動します。
2. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、関係法令および社内規定はもとより、利害関係者と取り交わした契約や約束を常に遵守し、全ての企業活動が正常な商慣習と企業倫理に適合したものになるよう努めます。
3. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、全ての人の基本的人権と個性を尊重し、オープンなコミュニケーションに努めます。
4. 私たちは、全ての利害関係者に対し、誠実に接するとともに、公平・公正かつ透明な関係を維持し、フェアな取引を行います。
5. 私たちは、会社の正当な利益に反する行為や会社の信用・名誉を損ねる行為を一切行いません。

サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループは、経営戦略達成のため、「アカウントティング・システム（財務的：定量的管理）」と「コントロール・システム（非財務的：定性的管理）」という2つのシステムから成るマネジメント・コントロール・システムズを導入しています。

このマネジメント・コントロール・システムズの「コントロール・システム」の基軸となるものとして、当グループ独自の品質マネジメント・マニュアルがあります。この品質マネジメント・マニュアルに基づき、ISO9000シリーズに準拠した品質方針、および環境マネジメント・マニュアルに基づき、ISO14001やエコステージなどの環境方針を策定しています。これらの方針に従い、コンプライアンス・品質・環境・地域貢献・人財育成等のCSR活動に努めています。



サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループでは、形式知化された業務をルール化し、業務フローと業務マニュアルを策定しています。

■ マネジメント・システム

マネジメント・システムにより業務を標準化し、企業活動に安定した品質をもたらしています。

■ 5W2HとPDCA→P' サイクル

PDCA→P' サイクルは計画策定のPlan、計画を実行するDo、計画と実行の差異を評価するCheck、評価から修正と改善を行い次のPlan(P')につなげるActionから構成されます。サンシングループでは情報共有システムなどを活用して、5W2Hを明示し、プロセスの進捗を可視化/共有しています。

マネジメントシステムの基本構成

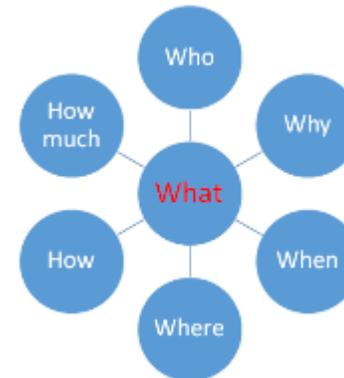


マネジメントシステムのレビュー



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、48ページ。

ビジネスの5W2H



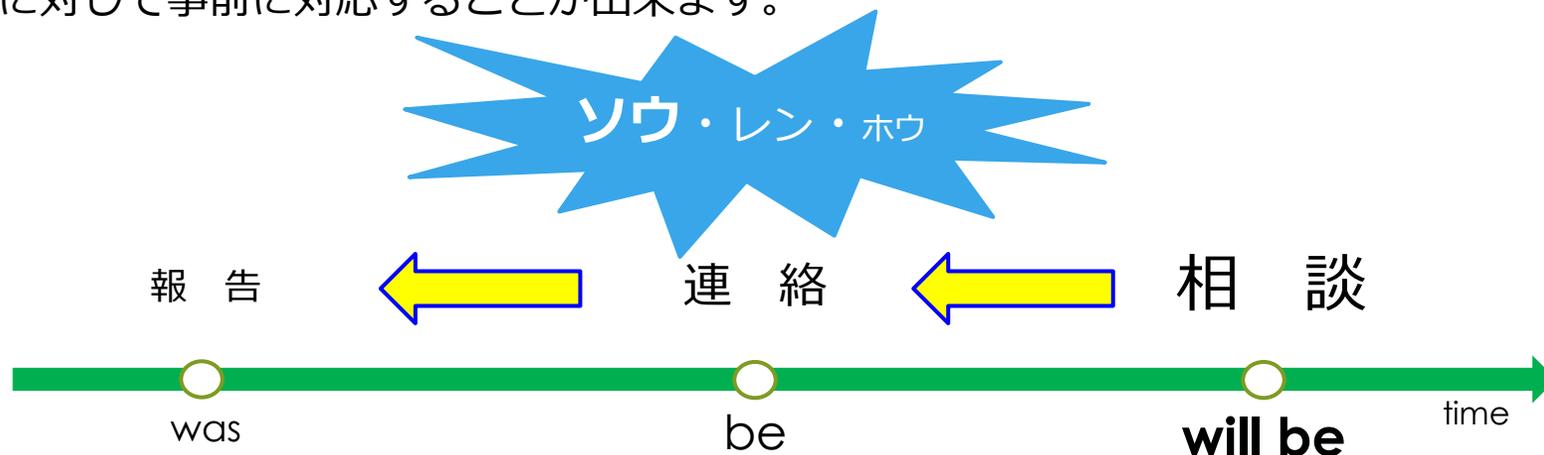
PDCA→P' サイクルの概念



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、42ページ。

未来形から問題を解決するソウレンホウ

サンシングループでは悪い問題は過去形になる前に潰すことが重要と考え、一般的に言われるハウレンソウ（報告・連絡・相談）ではなく、ソウレンホウ（相談・連絡・報告）を励行しています。ソウレンホウにより、過去形（報告）ではなく未来形（相談）と現在形（連絡）の情報を共有し、予測される問題に対して事前に対応することが出来ます。



出所：石井 宏宗[2011]『経営とは生きること -企業家に求められる3つの視点-』税務経理協会、166ページ。



編集
後記

SSD, 営業管理課 Y.Y.

今年の冬は「冬らしい冬」になるそうです。気象情報は、ビジネスにおいては製造・発注・マーケティング計画などのために有用な情報で、もっと未来の天気予報も重要になります。日本気象協会より「2年先長期気象予測」が提供されておりますので参考にしてみたいかがでしょうか。